

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/> )

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html> )

マイライブラリー:0229

(注)本稿は 2012 年 6 月 11 日～15 日、4 回にわたりブログ「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2012.6.16  
前田 高行

## 「アラブの商人」は健在: MENA 貿易円滑指数(2012年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その19)

目次	頁
1. 「The Enabling Trade Index」について	2
2. 総合指数 MENA1位は UAE	3
3. Pillar ごとに見る各国の状況	3
4. 主要国の2008～2012年の世界順位の推移	5
5. 主要5カ国の項目別世界順位(レーダーチャート)	5

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 カ国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第19回のランキングは、「世界経済フォーラム(World Economic Forum, 略称 WEF)」が発表した「The Global Enabling Trade Report 2012」(\*)の中から「The Enabling Trade Index (貿易円滑指数)」について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

\* ホームページ:

<http://www.weforum.org/reports>

## 1. 「The Enabling Trade Index」について

「The Enabling Trade Index」(貿易円滑指数、以下 ETI 指数)は、毎冬スイスで開催される「ダボス会議」の主催者として世界に名を知られている「世界経済フォーラム(World Economic Forum, 略称 WEF)」が作成したものである。WEF では2008年から「The Global Enabling Trade Report」を発表しており、その中で各国をETI指数によってランク付けしているが、第4回目の今年は132カ国が対象となっている。

ETI 指数は、(1)市場アクセス、(2)通関手続きの透明性、(3)運輸・通信インフラ及び(4)ビジネス環境の4つの分野に分けられている。4つの分野は以下の10のPillarと呼ばれるもので構成され、それぞれのPillar ごとに点数をつけて国際比較されている。

### 市場アクセス(Market Access)分野の Pillar

- (a) Domestic market access
- (b) Foreign market access

### 通関手続きの透明性(Border Administration)分野のPillar

- (c) Efficiency of customs administration
- (d) Efficiency of import-export procedures
- (e) Transparency of border administration

### 運輸・通信インフラ(Transport & Communications infrastructure)分野のPillar

- (f) Availability and quality of transport infrastructure
- (g) Availability and quality of transport services
- (h) Availability and use of ICTs

### ビジネス環境(Business Environment)分野のPillar

- (i) Regulatory environment
- (j) Physical security

各 Pillar の採点は各国の大学研究機関に委託し、国際統計をベースにして算定されている。日本の委託先は一橋大学である。

今年度のレポートでランク付けの対象となった国の数は132カ国であり、前回より7ヶ国増えているが、そのうち MENA は17カ国で前回より3カ国増えている。

MENA のうちランク付けされていない国はイラク、リビアおよびパレスチナ自治政府である。

## 2. 総合指数 MENA1位は UAE

(表<http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/5-19aEtiGeneralIndex2012.pdf> 参照)

2012年の貿易円滑化指数(以下ETI指数)でMENA17カ国中最も順位が高かったのはUAEであり、同国の世界ランクは132カ国中の19位であった。これは日本(18位)に次いで高く、米国(23位)を上回っており世界的にもトップクラスである。UAE に続き MENA2位はオマーン(世界25位)、第3位サウジアラビア(同27位)及び第4位イスラエル(同28位)が世界20位台に入っている。

更に第5位以下は、5位バハレーン(世界30位)、6位カタール(同32位)であり、MENA 上位6カ国中の5カ国を GCC 加盟国が占めている。7位ヨルダン(同42位)、8位チュニジア(同44位)までが世界50位以内である。続いてトルコ(世界62位)、モロッコ(同64位)、クウェイト(同66位)が世界60位台に名を連ね、以上11カ国が世界132カ国の上位グループに入っている。

上記以外の6カ国は世界順位が90位以下であり、エジプト(世界90位)、レバノン(同93位)、シリア(同108位)、イラン(同117位)、イエメン(同119位)と続き、MENA17カ国中でETI指数が最も低いのはアルジェリア(世界120位)である。

## 3. Pillar ごとに見る各国の状況

(表<http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/5-19bEtiByPillar2012.pdf> 参照)

ETIは4つの分野、10のPillar(柱)より構成されている(上記1参照)。Pillar 毎に MENA 各国の順位を見ると下記の通りである。

### (1a) Domestic market access

オマーンが世界22位であり MENA では最も高く、これに次ぐのがイスラエルの31位である。以下トルコ(37位)、サウジアラビア(43位)、バハレーン(44位)と続いている。総合順位が MENA で最も高い UAE はこの項目では世界80位に留まっている。その他カタール(76位)、クウェイト(82位)、ヨルダン(83位)、イエメン(95位)及びチュニジア(96位)までが世界100位以内に入っている。レバノン、アルジェリア、モロッコ、エジプト、シリア及びイランは100位以下であり、イランの場合は世界132カ国中の131位とされている。因みにこの指標では日本は30位で、イスラエルとほぼ同じ水準である。

### (1b) Foreign market access

ヨルダンが17位で最も高く、これに続くのがモロッコ(31位)、チュニジア(33位)、エジプト(34位)などである。一方経済力の高い GCC 産油国は UAE(128位)、カタール(121位)、クウェイト(93位)、サウジアラビア(87位)などいずれも世界の低位グループである。なお日本も132カ国

中の最下位であり、米国も125位にとどまっている。

(2) Efficiency of customs administration

バハレーン及び UAE がそれぞれ世界12位と17位の世界トップレベルであり MENA の中でも傑出している。この2カ国に続くのがイスラエル(25位)、サウジアラビア(29位)である。これに対し同じ GCC でもクウェイトは世界110位にとどまっている。

(3) Efficiency of import-export procedures

MENA トップの UAE は世界でも日本(16位)、米国(17位)をしのぐ世界7位でベスト・テンに入っている。UAE は下記の(9)でも世界5位であり、同国の貿易関連の制度・インフラ等が特に優れていることを示している。UAE に次ぐのはイスラエル(世界11位)、サウジアラビア(24位)、チュニジア(30位)である。なおエジプトは世界55位、トルコは60位である。

(4) Transparency of border administration

この項目ではカタールの世界16位が MENA では最も高く、次いで UAE(20位)、イスラエル(26位)、バハレーン(30位)が続いている。その他主な国の順位はサウジアラビア36位、トルコ68位、エジプト94位である。日本は13位。

(5) Availability and quality of transport infrastructure

UAE が世界11位と MENA 諸国では際立っており、これに次ぐのはイスラエル(32位)、バハレーン(36位)、カタール(37位)、トルコ(39位)の各国である。サウジアラビアは43位、エジプト55位で日本は18位である。

(6) Availability and quality of transport services

運輸サービスの質では UAE(世界22位)が MENA トップである。UAE に次ぐのはオマーン(世界34位)、サウジアラビア(37位)、トルコ(38位)などである。その他の主要国の世界順位はイスラエル(41位)、エジプト(51位)。クウェイトは MENA で最も低く世界107位に留まっている。因みに日本は6位である。

(7) Availability and use of ICTs

ICT とは Information & Communication Technology (情報通信技術) の略である。この Pillar の MENA トップはイスラエル(世界17位)であり、UAE(26位)、カタール(27位)がこれに続いている。その他の国はこれら3カ国から少し離れており、サウジアラビア(41位)、トルコ(64位)、エジプト(81位)などである。日本は世界20位。

(8) Regulatory environment

バハレーン(世界10位)、サウジアラビア(12位)、カタール(13位)、UAE(16位)、オマーン(18位)など GCC6カ国はいずれも世界ランクが高い。日本及び米国がそれぞれ23位、32位であることと比べてもそのことがよくわかる。MENA の平均順位は世界53位でありこの分野での MENA の世

界水準は高い。

#### (9) Physical security

この項目では各国間の格差が大きい。MENA トップの UAE は世界でも5位であり、またオマーン(7位)、サウジアラビア(8位)の3カ国が世界のベストテンに入っている。これら各国に続くのはカタール(12位)、シリア(29位)などである。一方、イスラエル(75位)、トルコ(102位)、エジプト(104位)のように地域の経済大国は概して順位が低い。もっとも日本(世界31位)、米国(69位)に見られるように先進経済大国といえどもこの項目の世界順位は高くない。

### 4. 主要国の2008～2012年の世界順位の推移

(図<http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/5-19dEti2008-2012.pdf> 参照)

MENA の4カ国(サウジアラビア、UAE、トルコ、エジプト)に日本、米国、中国を加えた7カ国の過去4回の ETI 総合指数の世界順位の推移は以下のようなものであった。

日本は2008年には世界13位で7カ国の中では最も順位が高く、次いで米国(世界14位)、UAE(23位)、トルコ(38位)であった。その後、日本、米国及びトルコは2010年までは毎年世界順位を下げている。例えば日本は13位(08年)→23位(09年)→25位(10年)であり、米国は14位→16位→19位と推移し、トルコは特に落ち込みが激しく38位(08年)→48位(09年)→62位(10年)となっている。

これに対し同じ期間中 UAE、サウジアラビア及びエジプトは順位が上向いており、UAE は23位(08年)→18位(09年)→16位(10年)と総合順位を上げ、サウジアラビアも53位(08年)→42位(09年)→40位(10年)と上向いている。

しかし2010年から2012年にかけては様相が一変し、日本が25位から18位に上昇し、トルコは下落が止まる一方、UAE は16位から19位に落ち、特にエジプトの場合は76位から90位に急落している。このような中でもサウジアラビアは40位から27位に上昇、2008年以降一貫して順位を上げている。

ここで取り上げた MENA4カ国の過去4回の ETI の傾向としては、UAE は頭打ち状態、サウジアラビアは上昇傾向にあり、トルコは下げ止まりの傾向を示し、エジプトはいったん上昇した順位から急落している。エジプトは「アラブの春」の混乱が貿易活動に悪影響を及ぼしたと考えられる。因みに中国は2008年から2010年までは48位→49位→48位とほぼ一定して世界50位以内にとどまっていたが、今回は56位に急落している。

### 5. 主要5カ国の項目別世界順位(レーダーチャート)

(図[http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/5-19cEtiPillars2012\(RadarChart\).pdf](http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/5-19cEtiPillars2012(RadarChart).pdf) 参照)

サウジアラビア、UAE、トルコ、エジプト及びイスラエルの5カ国に日本を加えて総合指数及び10の Pillar(項目)をレーダーチャートで比較してみる。

レーダーチャートは最も外側が世界順位1位であり内側の中心は世界150位である。また最上段の総合順位以下時計周りの1a から9までの数字は各 Pillar を示している。各分野の世界順位を結ぶ青い輪が各国の状況である。レーダーチャートの青い輪が外側に広がっているほど世界での順位が高く、また輪の形が円に近いほど各分野で平均していることを示している。

日本を除くMENA5カ国の中では UAE がもっとも広がりが大きい(即ち各項目とも世界順位が高い)。特に同国の場合、総合順位が19位であるほか、Pillar3 (Efficiency of import-export procedures)及び Pillar 9 (Physical security)は世界のベストテンに入っており、その他 Pillar2 (Efficiency of customs administration、世界17位)、Pillar5 (Availability and quality of transport、同11位)Pillar8 (Regulatory environment、同16位)も世界順位が高い。その一方 Pillar 1a (Domestic market access、世界80位)、Pillar 1b (Foreign market access、同128位)の世界順位がかなり低いためいびつな円形となっている。

サウジアラビア及びイスラエルは特別に秀でた項目は少ないが全体的にバランスがとれている。同じようなことはトルコにも言えるが、同国の場合はほぼ全ての項目で順位が低い。エジプトは5カ国の中では最も見劣りがする。特に Pillar 1a (Domestic market access、世界123位)、Pillar4 (Transparency of border administration、94位)、Pillar9 (Physical security、102位)などの順位が低く、同国の貿易は行政手続きの透明性と社会の安定性に問題があることを示唆している。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp